

入隊者が事務所へ帰郷報告

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、8月10日（水）、今春海上自衛隊、幹部候補生学校に入隊した廣田幹候の帰郷報告を受けた。

同校（江田島）への入校時とは違い、海上自衛官としての風格がにじみでており、真っ黒に日焼けした姿で同所を訪れた。

廣田幹候は、入校してからの行事や訓練で行った、射撃や遠泳などで体験した苦労話しを熱心に語っていた。

また、今年度同所から志願した、海自幹部候補生の合格者も来所しており、入校生活や入校間の心構えをはじめ、入校して一番きつかったことや楽しかったことなど会話は途切れることなく大いに盛り上がった。最後に、「また年末に来所します」と力強い声で同所を後にした廣田幹候の後姿は、将来を期待させるかのように輝いて見えた。

溝の口募集案内所は、「今後も、将来自衛官を目指す若者たちを全力で支援し、一人でも多く自衛隊入隊に導けるよう募集活動に邁進していく」とつづける。



担当広報官（左）対象者（中）廣田学生（右）

航空学生入隊者が挨拶に来所

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）に、8月12日（金）、今年度海上自衛隊航空学生として入隊した藤野君が来所した。

横須賀に戻って早々、大きな荷物を抱え制服姿のまま事務所に来所し、凛々しい元気な姿で、「入隊早々は訓練や教育でつらいことも多かったが、今は江田島での遠泳も終え、とても楽しく過ごしている」と話すなど、今後の課程教育における抱負と自信に満ちあふれた表情を見せてくれた。

横須賀地域事務所は、「今後も、自衛隊における後輩として部隊で活躍する入校・入隊者への応援に積極的に取り組み、様々な人の輪を繋げて絆を強化していきたい」としている。



制服姿の藤野君